

Academic English Support Desk

英語プレゼンテーション 個人指導

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) の Academic English Support Desk では、大阪大学に所属する全ての学生・教職員を対象に、**国際的な場面での発表を念頭に置いた英語プレゼンテーション・スキルの強化を図る個人指導**の場を提供しています。

英語で研究発表を行うにあたり、どんな表現や言い回しが適切とされるのか？

PowerPointで用いる視覚資料は、どんな工夫をすればオーディエンスの心を掴むのか？

そもそも、英語のプレゼンテーションとは、どう組み立てればいいのか？

口頭発表やポスター発表など、国際学会に向けた発表準備に取り掛かるにあたり、こうした疑問を持たれたことがある方は少なくないはず。この機会に Academic English Support Desk の**専門性の高いネイティブ・インストラクターによる個人指導 (チュートリアル)** の受講を通じて、基礎から応用まで、英語プレゼンテーションを成功させる秘訣を学んでみませんか。



英語プレゼンの構成に関する相談に対応

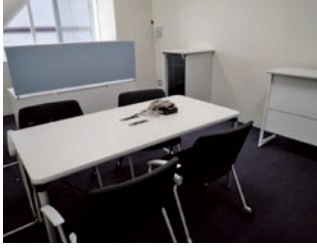


効果的な PowerPoint スライドの提示方法を解説



聴衆を惹きつける話し方、身振り手振りを指導

Academic English Support Desk 個人指導受講場所



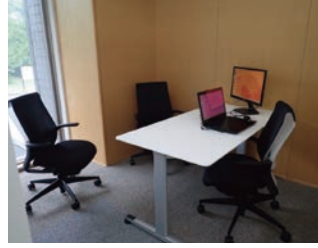
吹田キャンパス

医学系研究科附属
最先端医療イノベーションセンター棟
2階 セミナー室B (225室)



吹田キャンパス

理工学図書館
西館 2階
グループ学習室 1



豊中キャンパス

総合図書館
A棟 2階
ラーニング・コモンズ内



箕面キャンパス

言語文化研究科・外国語学部
A棟 5階
523室

英語プレゼンテーション 個人指導受講の流れ

1 予約

専用のウェブサイトにて、希望受講日時を予約を取ります。

※一度の受講申請につき、3回を受講回数の上限とします。

2 受講申請書の提出

所定のフォームに必要事項(英文)を記入のうえ、予約日の翌日 17:00 を期限として MLE 担当者までメール添付にて提出します。

3 発表資料の提出

初回受講日の3日前までに、指導を希望する発表資料(PowerPoint ファイル等)を MLE 担当者までメール添付にて提出します。

※諸般の事由により発表資料の事前提出が困難な場合は、その旨を予め MLE 担当者までご相談ください。

4 受講

予約スケジュールに即して、当該受講場所にてネイティブのインストラクターによる1対1の指導を受けます。

5 報告書の提出

受講内容に関して、最終受講日から2週間後を期限として所定の報告書を MLE 担当者までメール添付にて提出します。

※報告書の提出後に限り、再度3回を上限として本プログラムの個人指導を再受講できます。

! Academic English Support Desk 英語プレゼンテーション個人指導の受講方法の詳細や平成29年度の実施スケジュールについては、マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)のホームページやKOAN等を通じて順次お知らせします。

受講者の声

(※受講報告書の自由記述欄より抜粋)

ネイティブの先生に1対1でプレゼンを指導してもらった機会はないため、非常に勉強になった。3回目の受講が終わった時には、1回目と比較してとても成長したと実感することができた。
(人間科学研究科・M1)

英語の口頭発表でよく使われるキーフレーズがまとめられたプリントを頂いたので、発表原稿を作成する上で非常に役立つと思いました。
(理学研究科・D3)

国際学会・論文発表を控えている院生にとっては非常に有用なプログラムでした。非常に相談しやすく、回を重ねるごとにスキルがUPしているのを実感できました。
(医学系研究科・D4)

初めての海外でのプレゼンテーションを控えての受講でしたが、とてもリラックスした雰囲気の中、内容や時間配分のチェック、発音やイントネーションの補正、バックグラウンドとなる知識の整理まで、多岐にわたってスキルが向上しとても有意義な時間を過ごすことができました。
(歯学研究科・D4)

すべて英語でのやりとりであったので、実際の講演をふまえ、いい練習ができた。また、単にスライドや原稿についての英語の指導のみならず、内容の周辺情報についてフランクに意見交換できたことが貴重な経験であった。
(薬学研究科・准教授)

教えていただいたことは今後の学生指導に役立てたいと思います。
(工学研究科・准教授)

発表の模擬練習を行い、改善点や注意事項を教えて頂いた。言い回しを教えて頂くことで、本番の発表の際にスムーズに発表を行うことができた。発音の間違いを指摘していただき、発表の質を向上させることができた。発表の模擬練習を繰り返すことで、時間管理や自信を付けることができた。総じて非常にためになったので、この個別指導に申し込んでよかったと思う。
(基礎工学研究科・M2)

今回の個別指導において、英語でのプレゼンテーションに対する基礎的なことから、実践的なことまでを学ぶことができ、そのおかげで本番の国際学会での口頭発表を無事にやり遂げることができました。
(微生物病研究所・D3)

問合せ先

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム

Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp

URL: http://www.mle.osaka-u.ac.jp/

